

公民 地理歴史 数学

試験時間60分

〔注 意〕

1. この問題冊子は指示があるまで開いてはいけない。
2. (政治・経済)(日本史)(世界史)(数学) の4科目から1科目を選んで解答すること。
3. 受験番号が正しく記入・マークされていない場合、選択した科目にマークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、0点となる。
4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にマークすること(数学の解答欄は裏面)。
例えば、問題文中に

10

 (政治・経済, 日本史, 世界史),

ア

 (数学) と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10(政治・経済, 日本史, 世界史), 解答記号ア(数学)の解答記入欄の③にマークすること。正しくマークされていない場合は採点できないことがある。

(試験問題は次のページから始まります)

(例) 政治・経済ほか

解答番号	解答記入欄 (マーク)
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

数学

解答記号	解答記入欄 (マーク)
ア	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

5. 定規・コンパスは使用しないこと。
6. 問題冊子の各ページの余白は自由に使用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
7. 試験終了後、解答用紙は通路側に置くこと。なお、問題冊子は持ち帰ること。

〈マーク式についての注意〉

1. 機械が読み取って採点するので、折り曲げたり汚したりしないこと。
2. マークはHBの鉛筆で枠の中を濃く塗りつぶすこと。
3. 1つのマーク欄には1つしかマークしないこと。
4. 訂正はプラスチック消しゴムでよく消し、消しくずはきれいに取り除くこと。
5. 所定欄以外には何も書かないこと。

世界史

(解答番号 ~)

問題 I 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

現代インドを中心とする南アジア地域では、紀元前 6 世紀以降、^(a)都市国家が成立し、新たな思想や宗教が誕生した。それ以降、同地域には次々と王朝が成立した。その歴史を概観してみよう。

まず、前 4 世紀末ごろに成立したのが ^(b)マウリヤ朝である。同朝は、南アジアに成立した最初の統一王朝ともいわれる。続いて前 1 世紀なかば以降、サータヴァーハナ朝とクシャーナ朝が成立した。この時期には、^(c)仏教のなかから新しい動きが生まれた。さらに 4 世紀ごろ、^(d)グプタ朝が成立した。この時期には、^(e)ヒンドゥー教が確立するとともに、^(f)インド古典文化が成熟した。このような状況を受けて、^(g)中国からインドを訪問する人物もいた。

やがて 8 世紀ごろになると、南アジア地域は ^(h)地方王朝の時代に入る。その後、13 世紀に ⁽ⁱ⁾アイバクがデリーに創始した王朝は、^(j)奴隷王朝とよばれる。^(k)それ以降に同地域に成立した多くの王朝においては、^(l)イスラーム教が信仰されている。

第二次世界大戦後に脱植民地化が進むなか、南アジアの国々も独立を達成した。1947 年にインドが独立し、 が初代首相となった。同年にはパキスタンも独立を達成し、翌年にはセイロンもそれに続いた。その後 1971 年にはバングラデシュが からの独立を果たした。もっとも宗教や文化、さらには植民地支配に由来する要因などのために、同地域では今日も対立や紛争が続いている。

問 1 文中の空所アに入れるのに最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- | | |
|---------|---------------|
| ① ジンナー | ② ネルー |
| ③ ガンディー | ④ インディラ・ガンディー |

問 2 文中の空所イに入れるのに最も適切な国名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- | | | | |
|-------|---------|--------|--------|
| ① インド | ② パキスタン | ③ イギリス | ④ フランス |
|-------|---------|--------|--------|

問 3 下線部(a)に関連して、これら都市国家の社会状況や思想の記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① インダス川の領域では、稲作を中心とした農業生産が拡大したことも相まって、コーサラ国やマガダ国といった王国が成立した。
- ② ガウタマ・シッダールタの創始した仏教においては、正しい実践の方法（八正道）が説かれた。
- ③ ジャイナ教では、神々への賛歌を集めたヴェーダが聖典として重視されたため、バラモンに広く支持された。
- ④ ウパニシャッド文献では、宇宙の根本原理であるアートマンと自己であるブラフマンを合一させることで、輪廻から解放されると説かれた。

問 4 下線部(b)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 同王朝時代、仏教經典の編纂は、支援されなかった。
- ② コーサラ国の武将であったチャンドラグプタ（王）によって建国された。
- ③ 第 2 代のアショーク王の時代に、王国の領域が最大となった。
- ④ 同王朝時代の石柱碑には、頭部にライオン（獅子）像のつたものがある。

問 5 下線部(c)についての記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 2 世紀なかばのカニシカ王の時代が最盛期であった。
- ② 海路を用いずに「草原の道」を活用し、東西貿易の中継地となった。
- ③ 西北インドに成立し、後にプルシャブラを都とした。
- ④ ササン朝ペルシアのシャープール 1 世と争った。

問 6 下線部(d)に関連して、仏教にまつわる記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 厳しい修行を行ない、自身の悟りをめざすことを「大乘」とよんだ。
- ② 大乘仏教の教理は、鳩摩羅什によって理論化された。
- ③ アジャンターの石窟寺院は、ガンダーラ様式の建造物として有名である。
- ④ 上座部仏教は、スリランカや東南アジアへと拡大した。

問題Ⅱ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

ルネサンス期の政治思想家であるマキアヴェリが著した 「ア」 に影響を与えた人物の1人として、チェザーレ・ボルジアがいる。チェザーレとは、古代ローマの名将カエサル(a)のイタリア語読みで、彼は1475年にローマ・カトリック教会の枢機卿ロドリゴ・ボルジアの庶子としてローマで生まれた。チェザーレはその地で幼年期をすごした後に、ピサやペルージャの大学で法律学を学んだ。父のロドリゴが1492年にアレクサンデル6世としてローマ教皇に就くと、チェザーレは同年に スペインのパレンシア(b)大司教職に就き、1493年には枢機卿に任命され、教皇を補佐する立場になった。

当時のイタリアは北にヴェネツィア共和国、ミラノ公国、中部にフィレンツェ共和国、(c)ローマ教皇領、南にナポリ王国があったが、他は小規模な公国領や都市国家が支配する領域が広がり、分裂した状況であった。イタリアの周辺には フランス王国、神聖ローマ帝国、スペイン王国などの強大な王権が存在し、彼らは政情不安な北イタリアを中心に軍事介入をたびたび行っていた。フランス国王シャルル8世もその1人である。彼は 騎士道物語に影響され、フランス、イタリア、ドイツにまたがる広大な領土を築いた(d)フランク王国の「イ」の成果に倣い、十字軍をはじめとする外国遠征を企てて(e)いた。そのようななか、ナポリ王国の王位継承問題や前回の コンクラーベ(教皇選挙)(f)で敗れた枢機卿の煽動、さらにはミラノ公国からの軍事的な援助要請などが重なり、シャルル8世は1494年に9万の大軍を率いてイタリア侵攻を開始した。フランス軍を前に、ナポリ軍は各地で抵抗を試みるも、多くのイタリアの諸勢力は抵抗することなく城門を開けていき、フランス軍が 教皇領に到達してもその進軍を止めることができなかった。教皇はローマに現れたフランス軍に対し、すぐに城門を開け、シャルル8世をバチカンに招き入れた。その後、シャルル8世はナポリ王国も制圧したが、彼の軍事制圧に対する イタリア都市や神聖ローマ皇帝、スペイン王の反感を糾合して、(g)教皇は1495年に反フランスの大同盟を結ぶことに成功し、フランス軍をイタリアから追い払った。

この出来事によって教皇は権力基盤の強化の必要性を感じた。その役割を担ったのがチェザーレであった。彼は枢機卿を自ら辞し、教皇軍最高司令官に就き、ローマ・ニャ侯爵領やサンマリノ共和国などを攻略し、教皇領を広げていった。彼の軍隊の中には芸術家として名を馳せた者もいた。(h)しかし、1503年に教皇が原因不明の病で倒れ死去すると、チェザーレは教皇という宗教的な後ろ盾を失い、義兄が統治するナバラ(ナヴァラ)王国に逃れ、1507年にその地でスペイン軍と戦い、戦死することになる。

問1 文中の空所アに入れるのに最も適切な作品名を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 16

- | | |
|------------|-------------|
| ① 『ユートピア』 | ② 『君主論』 |
| ③ 『ローランの歌』 | ④ 『アーサー王物語』 |

問2 文中の空所イに入れるのに最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 17

- | | |
|-----------|------------|
| ① ユーグ・カペー | ② アルフレッド大王 |
| ③ シャルル7世 | ④ カール大帝 |

問3 下線部(a)に関連して、ローマ帝国が東西に分かれた後のヨーロッパ世界の記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 18

- ① 西ローマ帝国はゲルマン人傭兵隊長テオドリックによって滅ぼされた。
- ② ユスティニアヌス帝はゲルマン諸国家を征服し、西ゴート王国を樹立した。
- ③ フランク王に即位したクローヴィスはキリスト教のアタナシウス派に改宗した。
- ④ アッティラ王がアングロ・サクソン七王国を建てた。

問4 下線部(b)に関連して、ローマ・カトリック教会の腐敗や権威が失墜した事件の記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 19

- ① ベーメンで発生したワット・タイラーの乱をはじめとして、教会や聖職者の墮落や腐敗を批判する運動が各地で起こった。
- ② フランス国王によって1309～77年の間、教皇庁は南フランスのアヴィニョンに移され、この事態を「教皇のアヴィニョン捕囚」とよぶようになった。
- ③ 教皇グレゴリウス7世は教皇権の絶対性を主張したが、聖職者への課税に反対したフランス国王と対立し、ルイ9世によって捕らえられた。
- ④ 神学者ウィクリフは聖書こそが信仰の最高権威であると主張し、コンスタンツ公会議にて異端と宣告された。

7 (世界史)

問5 下線部(c)に関連して、中世の大学の記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 20

- ① イタリアのボローニャ大学は法律学を学ぶ大学として有名だった。
- ② 大学は世俗を離れた修行の場であり、清貧・献身などの厳しい戒律を課した。
- ③ 大学には主に神学、法学、経済学の3学部があった。
- ④ 大学は領主に対し、賦役と貢納の義務を負った。

問6 下線部(d)に関連して、中世のイベリア半島の記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 21

- ① イスラム教徒がイベリア半島南部にセルジューク朝を建て、これに対してキリスト教徒はトゥール・ボワティエ間の戦いを起こした。
- ② アラゴン女王イサベルとカスティリヤ王子フェルナンドの結婚により、スペイン王国が誕生した。
- ③ ポルトガルは12世紀にカスティリヤから独立し、国王の下で王権が強化された。
- ④ ハインリヒ4世はキリスト教異端のアルビジョワ派を征服して王権をイベリア半島南部に拡大させた。

問7 下線部(e)に関連して、14～15世紀末までのイタリアの記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 22

- ① イタリアの3つの国がカルマル同盟を結び、同君連合としての王国を樹立した。
- ② 南部では両シチリア王国がシチリア王国とナポリ王国に分裂していた。
- ③ 大規模な植民が行なわれ、ブランデンブルク辺境伯領などがつくられた。
- ④ 北イタリアの有力都市は共通利害のためにハンザ同盟を結成した。

(世界史) 8

問8 下線部(f)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 23

- ① フィリップ4世はローマ教皇ボニファティウス8世との抗争のなかで、聖職者・貴族・平民の代表者が参加する三部会（全国三部会）を開き、王権を強化した。
- ② 百年戦争を終結させたプランタジネット朝のシャルル8世は都市の大商人の力を利用して国家財政を立て直し、中央集権化を推し進めた。
- ③ イヴアン3世はビザンツ帝国最後の皇帝の姪と結婚して、ローマ帝国の継承者であることを宣言し、ツァーリの称号を用いた。
- ④ ジョアン2世は貴族の反乱をしずめて王権を強化し、バルトロメウ・ディアスの航海を援助するなどして、海洋進出の先駆けとなった。

問9 下線部(g)に関連して、騎士や騎士道についての次の記述A～Cのうち、正しいものはどれか。当てはまる記述をすべて選び、その組合せとして最も適切なものを、後の①～⑦の中から一つ選び、マークして答えなさい。 24

- A 武勇と主君への忠誠心、神への信仰、女性・弱者の保護などを重視する。
- B セルバンテスは、中世の騎士道を風刺した。
- C 吟遊詩人は宮廷において騎士の恋愛を叙情詩的にうたった。

- ① A ② B ③ C ④ A・B
- ⑤ A・C ⑥ B・C ⑦ A・B・C

9 (世界史)

問10 下線部(h)に関連して、以下の各問に答えなさい。

- (1) 十字軍についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 25

- ① 第1回十字軍はコンスタンティノープルを占領してラテン帝国を建てた。
- ② 教皇レオ3世はクレルモン宗教会議にて聖地回復の聖戦を提唱した。
- ③ 第3回十字軍は神聖ローマ皇帝、フランス国王、スペイン国王が参加した。
- ④ 聖地巡礼への保護を目的として、各地で宗教騎士団が結成された。

- (2) 十字軍が及ぼした影響に関する記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 26

- ① 相次ぐ遠征により国王の権威は低下し、諸侯や騎士の力は増した。
- ② 農業生産が減退し、人口減少するなかで、次第に外に向けて軍事行動を起こすようになった。
- ③ ビザンツ帝国やイスラーム圏から文物がヨーロッパに流入した。
- ④ 地中海を経由する東方貿易が減退し、イタリア諸都市の経済は停滞した。

問11 下線部(i)に関連して、ローマ・カトリック教会の記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 27

- ① 1054年に、ギリシア正教会と互いを承認し合うことで、融和した。
- ② 教皇グレゴリウス1世はゲルマン人への布教活動を強化した。
- ③ 教皇権はインノケンティウス3世の時に絶頂に達した。
- ④ 教皇は使徒ペテロの後継者を自任し、権威を高めるようになった。

問12 下線部(j)に関連して、教皇領が形成された8世紀の記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 28

- ① 教皇はカール・マルテルの子ピピンがフランク王位を継承するのを拒否した。
- ② ビザンツ皇帝レオン3世は聖像禁止令を発布した。
- ③ 教皇ウルバヌス2世はドイツ国王と叙任権闘争を引き起こした。
- ④ 教皇グレゴリウス1世はクヌートにローマ皇帝の帝冠を与えた。

(世界史) 10

問13 下線部(k)に関連して、この時代のイタリアで起きた出来事として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 29

- ① 大規模な農民一揆であるジャックリーの乱が起きた。
- ② 農奴はヨーマンとよばれ独立自営農民になった。
- ③ ノルマン人がイタリア南部、シチリア半島を占領した。
- ④ 諸都市の内部では教皇派と皇帝派がたがいに争っていた。

問14 下線部(l)に関連して、ルネサンス期の記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 30

- ① ペトラルカは天体の動きを観測し、地球球体説を唱えた。
- ② レオナルド・ダ・ヴィンチは文芸や自然諸科学に通じた万能人とよばれた。
- ③ エラスムスは人文主義のもとで『神曲』を書いた。
- ④ デューラーは「民衆の踊り」でフランドルの民衆を描いた。

問題Ⅲ 次の文章を読んで、後の各問に答えなさい。

辛亥革命により成立した中華民国は、依然存在する。清朝を滅ぼすため、清朝の内閣総理大臣である袁世凱と取引した。そのため、清朝は滅亡に追い込まれたが、孫文は袁世凱に臨時大統領の地位をゆずることによって両者の対立は深まり、敗れた孫文は日本に亡命した。第一次世界大戦勃発後、日本が中華民国に対して二十一条の要求を突きつけ、受諾した中華民国では政治的混乱が生じた。その結果、中国国民党によって、中華民国は再統一された。中国国民党政権は、外交や経済に関わる成果を出す一方で、日本の軍事行動に苦慮した。

中華人民共和国成立後、中華民国は台湾へ敗走した。その後、台湾では中国国民党の独裁体制がアの時代まで続いたが、イが総統に就任すると民主化を進めていった。他方で、1970年代末から中華人民共和国は、社会主義市場経済化を進めていった。しかし、同じ社会主義国家のソヴィエト社会主義共和国連邦(ソ連)が経済改革とともに政治改革を進めたのに対し、中国では民主化運動が弾圧される天安門事件が起こった。事件後、一時的に停滞した改革開放政策は、南巡講話を契機に再開された。

問1 文中の空所アに入れるのに最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 蔣経国 ② 趙紫陽 ③ 張作霖 ④ 張学良

問2 文中の空所イに入れるのに最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 陳水扁 ② 朴正熙 ③ 李登輝 ④ 金大中

問3 下線部(a)に関連して、辛亥革命が勃発した場所と中華民国の首都が置かれた場所の組合せとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 〔辛亥革命が勃発した場所〕上海 ― 〔中華民国の首都が置かれた場所〕北京
 ② 〔辛亥革命が勃発した場所〕武昌 ― 〔中華民国の首都が置かれた場所〕南京
 ③ 〔辛亥革命が勃発した場所〕広州 ― 〔中華民国の首都が置かれた場所〕北京
 ④ 〔辛亥革命が勃発した場所〕成都 ― 〔中華民国の首都が置かれた場所〕南京

問4 下線部(b)に関連して、後に満洲国の皇帝となった清朝の皇帝として最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 宣統帝 ② 同治帝 ③ 康熙帝 ④ 光緒帝

問5 下線部(c)に関連して、孫文が日本で清朝に対する革命活動を展開する過程で論争を繰り広げた人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 洪秀全 ② 林則徐 ③ 曾国藩 ④ 梁啓超

問6 下線部(d)に関連して、袁世凱に敗れて亡命した後の孫文が組織した秘密結社として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 興中会 ② 中国同盟会 ③ 国民党 ④ 中華革命党

問7 下線部(e)に関連して、中国に関する九カ国条約が締結された会議として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① バンドン会議 ② ワシントン会議
 ③ 非同盟諸国首脳会議 ④ バリ講和会議

問8 下線部(f)に関連して、中国社会の病弊を描出した『狂人日記』の作者として最も適切な人物を、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。

- ① 陳独秀 ② 魯迅 ③ 胡適 ④ 李大釗

13 (世界史)

問9 下線部(g)に関連して、孫文病没前の中国国民党の記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 39

- ① 中国国民党は広州に拠点を置いた。
- ② 中国国民党は中国共産党と協力体制を構築した。
- ③ 中国国民党は労働者や農民と対立した。
- ④ 中国国民党はソ連の顧問を受け入れた。

問10 下線部(h)に関連して、日中戦争勃発前の中国国民党政権の記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 40

- ① 関税自主権の回復を達成した。
- ② 英米との治外法権の撤廃を達成した。
- ③ 世界恐慌の影響を抑制するために幣制改革を実施した。
- ④ 近代的国民の創出をめざして新生活運動を開始した。

問11 下線部(i)に関連して、満洲事変の発端となった事件として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 41

- ① 盧溝橋事件
- ② 柳条湖事件
- ③ ノモンハン事件
- ④ 西安事件

問12 下線部(j)に関連して、中華人民共和国成立前の中国共産党の記述として適切でないものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 42

- ① 広東省に中華ソヴィエト共和国臨時政府を樹立した。
- ② 長征の後に延安を根拠地とした。
- ③ 八・一宣言を出して民族統一戦線の結成を主張した。
- ④ 中国国民党と2度にわたって協力体制を構築した。

(世界史) 14

問13 下線部(k)についての記述として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 43

- ① 人民公社の設置を促進した。
- ② 農業生産の請負制を廃止した。
- ③ 国営企業の独立採算化をはかった。
- ④ 外国資本の導入を拒否した。

問14 下線部(l)に関連して、ソ連のゴルバチョフ政権の政策として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 44

- ① ドイモイ
- ② グラスノスチ
- ③ ネツプ
- ④ コミンテルン

問15 下線部(m)を行なった人物として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選び、マークして答えなさい。 45

- ① 胡錦濤
- ② 鄧小平
- ③ 劉少奇
- ④ 周恩来